

[4月5日]宿河原桜まつり [4月16日]中原桃まつり

二ヶ領用水は桜や桃の花祭りで賑わいました

宿河原の二ヶ領用水の桜は第40回桜まつりの開催中に満開を迎え、今年も多くの花見客で賑わいました。準備していたイベントは直前の雨で中止となりましたが、用水沿いでは楽しい輪がいくつも出来ていました。

桃源郷中原の史実伝承と、住みよい中原のため“中原区の木を桃の木に”をアピールして今年で29回目の桃まつりが家内橋周辺で開催されました。11種約700本を植樹してきただけあって、日本でもこれだけの種類が多いのは二ヶ所だけと自慢の桃並木です。春日神社祭り囃子保存会の笛や太鼓の音に誘われて多くの市民が楽しんでいました。



多摩川でみられる樹① ヤナギ類

ヤナギ類はどれも似ていて識別しにくいですが、あまり種別にこだわらず、その優美な姿を楽しみましょう。



雌花

昔“暴れ川”であった多摩川では、洪水のあとに先駆けて定着してきたヤナギ類が多くみられます。

ヤナギ類は深く根をはり、やわらかい幹や枝が折れずに水流や水圧に耐えて育ちます。日本で自生している約35種のヤナギ類のうち、多摩川には低木のネコヤナギや高木のコゴメヤナギなど8種類が確認されています。

ヤナギ類の生活史戦略は2月末ごろ葉の展開と同時に小さな花を咲かせ、いち早く昆虫に蜜と花粉を運ばせます。そして春に結実した軽く小さい種子を風などで広く散布させ、落下後は他の樹種が開葉する前に発芽を始めることなどです。



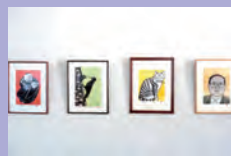
コゴメヤナギ

ヤナギ類は昔から生活に密着し、明治ごろまでは、木の成分「サリシン」が歯茎の炎症を防ぐと言われ「総楊枝」、現在の歯ブラシとして使われていました。また柳行李やバッグ、丸箸としても利用されています。

マルタウグイが釣れるかな？

かわさき水辺の楽校開校 [4月19日]

開校式前から「飛び入りでもいいですか」と僕とママの参加もあり、新年度の楽校が開校しました。佐々木校長の挨拶の後、各担当の紹介がありました。ライフジャケットを着け、「さあ、マルタウグイ釣りに挑戦だー!」と堰の下へ早速に移動しました。今年も楽しい楽校が始まりました。



4月展示：版画展

photo pick up



5月展示：折り紙兜

源流の間伐材が積み木に

せせらぎ館の一週で子どもたちが遊んでいる積み木は、多摩川源流のヒノキの間伐材で、丹波山村とオイスカが寄贈してくれたものです。無垢材で手触りが優しく、ヒノキの香りもして子どもたちばかりでなく、大人にも大人気です。

積み木を高く積んで背比べをしたり、親子合作のお城の力作があったり、素敵なランプシェードの形になったり、色々



な形を生み出して楽しんでいます。源流の間伐材が下流の子どもたちの創造力や集中力を育み、源流との関わりがとても身近に感じられています。

多摩川エコミュージアム★イベント情報

- 6月 1日(日) 9:00 多摩川一斉清掃(市)参加
- 7日(土) 9:00 クリーンアップ(館周辺)
- 10:00 第2回エコ草履作り講習会
- 8日(日) 10:00 せせらぎ館大掃除&魚釣り(かわさき水辺の楽校)
- 22日(日) 10:00 かつぱの川流れ&草木染め(とどろき水辺の楽校)
- 10:00 干潟観察会(だいし水辺の楽校)
- 7月 5日(土) 10:00 多摩川・二ヶ領用水清掃活動(専修大学体育会と共催)
- 10:00 第3回エコ草履作り講習会
- 6日(日) 15:00 かわさき色輪っかつなぎ(からふる!と共催)
- 27日(日) 10:00 丹波山村“夏祭り”参加
- 28日(月) 9:00 クリーンアップin丹波川

館内展示予定

6月展示 / “かわさきつれさん会”写真展
7月展示 / 七夕飾り、多摩川写真展

※詳しくは二ヶ領せせらぎ館

044-900-8386まで、お問い合わせください。